

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **11-029151**

(43)Date of publication of application : **02.02.1999**

(51)Int.Cl.

B65D 30/10

B65D 30/02

B65D 65/46

E02B 3/04

(21)Application number : **09-195201**

(71)Applicant : **SEFUTETSUKU KK**

(22)Date of filing : **07.07.1997**

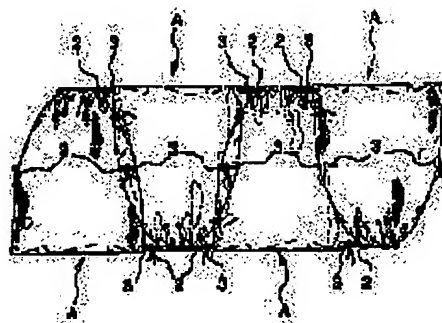
(72)Inventor : **KABUTOGI GOROU**

(54) BAG FOR SANDBAG

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make a sandbag which is not likely to move from an installed position by placing a tie on a side and/or a lower end of a bag.

SOLUTION: A closing string 2 is provided at an upper end of a bag, while a tie 3 is provided on a side (an end of a side face) and at a lower end of the bag. The tie 3 is fixed by an arbitrary method such as sewing. After soil is put in the bag thus constituted, a mouth of the bag is closed by the closing string 2 to make a sandbag A. When a bank is to be constructed of thus formed sandbags A, the ties 3 or the ties 3 and the closing strings 2 of laterally and vertically adjacent sandbags A are tied with each other to construct the bank. Since an upper end and a lower end of the sandbag A are thus coupled with another sandbag A, the individual sandbags A, especially those on the uppermost stage are extremely unlikely to move. As a result, the bank which is not likely to break can be constructed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-29151

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月2日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I	
B 6 5 D 30/10		B 6 5 D 30/10	W
30/02		30/02	
65/46		65/46	
E 0 2 B 3/04	3 0 1	E 0 2 B 3/04	3 0 1
審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)			

(21) 出願番号 特願平9-195201

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月7日

(71) 出願人 000220963

セフテック株式会社

東京都文京区本郷5丁目25番14号

(72) 発明者 兜木 吾朗

東京都文京区本郷5丁目25番14号 セフテック株式会社内

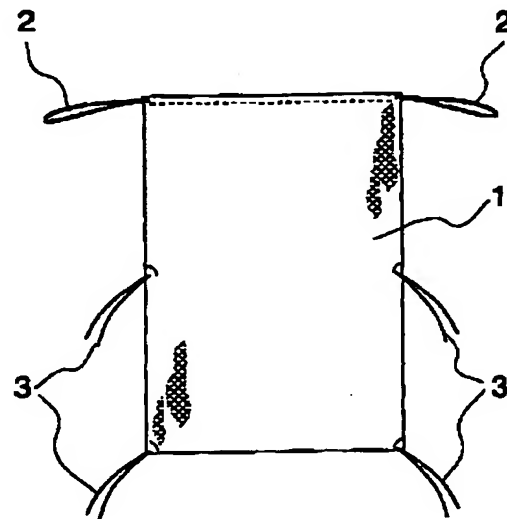
(74) 代理人 弁理士 橋高 郁文

(54) 【発明の名称】 土嚢用の袋

(57) 【要約】

【課題】 従来に比して設置した位置から動きにくい土嚢を造ることができる土嚢用の袋を提供を課題とする。

【解決手段】 袋1の上端部には閉紐2が設けられており、袋1の側面および下端部には縛紐3が設けられている。袋1の内部に土を詰めた後、閉紐2によって袋の口を閉じて土嚢を作製する。土嚢によって堤防を築く場合には、相隣接する土嚢Aの縛紐3同士または縛紐3と閉紐2とを結びながら堤防を築いていく。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 袋の上端部に閉紐が設けられている土嚢用の袋において、当該袋の側面または／および下端部に縛紐を配設したことを特徴とする土嚢用の袋。

【請求項 2】 前記袋は生分解性プラスチックからなることを特徴とする請求項 1 に記載の土嚢用の袋。

【請求項 3】 前記袋の内部における幅は、上端部および下端部の幅に比して中央部の幅が小さいことを特徴とする請求項 1 に記載の土嚢用の袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、土嚢用の袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の土嚢用の袋は、図 6 に示したように袋 1 の上端部に閉紐 2 が設けられており、図 7 に示したように、袋 1 の内部に土を詰めた後、閉紐 2 によって袋の口を閉じて土嚢 A としていた。

【0003】そして、このようにして作った土嚢 A を図 8 に示したように積み重ねて堤防等を築いている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このようにして築いた堤防においては、土嚢 A が単に積み重ねられているだけであり、特に最上段に位置する個々の土嚢 A は動き易いために、水量が多いときなどは最上段に位置する土嚢 A から順次流されていって、ひいては堤防が決壊してしまうことがあった。

【0005】本発明の目的は、従来に比して設置した位置から動きにくい土嚢を造ることができる土嚢用の袋を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】以上の目的を達成するために、本発明は袋の上端部に閉紐が設けられている土嚢用の袋において、当該袋の側面または／および下端部に縛紐を配設したことを特徴とするものである。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面を用いて本発明の実施形態を説明する。

【0008】（実施形態 1）図 1 は本発明の実施形態 1 の構成を示す正面図である。

【0009】図 1 において、袋 1 の上端部には閉紐 2 が設けられており、袋 1 の側面（本実施形態では側面の端部）および下端部には縛紐 3 が設けられている。本実施形態においては、縛紐 3 を袋 1 に縫いつけて固定しているが、この縛紐 3 の固定方法はどのようなものであってもよい。

【0010】また、本実施形態においては、袋 1 の材料として生分解性プラスチックを用いている。

【0011】以上のように構成された本実施形態においては、従来と同様に、袋 1 の内部に土を詰めた後、閉紐

2 によって袋の口を閉じて土嚢を作製する。

【0012】そして、このようにして作られた土嚢 A によって堤防を築く場合には、図 2 に示したように、相隣接する土嚢 A の縛紐 3 同士または縛紐 3 と閉紐 2 とを結びながら堤防を築いていく。

【0013】ここで本実施形態に係る土嚢用の袋においては、側面のみならず下端部にも縛紐 3 が配設されているために、左右方向に隣接している土嚢 A のみならず、図 3 に示したように、上下方向に隣接して積まれている土嚢 A 同士を縛紐 3 を用いて連結させることができる。

【0014】図 3 に示したように、本実施形態を用いて堤防を築いた場合には、土嚢 A の上端部および下端部が他の土嚢に結び付けられるために、個々の土嚢 A、特に最上段の土嚢 A は従来に比して著しく動きにくくなる。従って本実施形態を用いて堤防を築いた場合には、従来に比して著しく決壊しにくい堤防を築くことができる。

【0015】また、本実施形態においては袋 1 の材料が生分解性プラスチックであるために、災害時に築かれた堤防が何らかの理由で放置された場合でも、年月が経れば、袋 1 が分解されて内部の土だけが残るので、袋 1 により環境が汚染されることはない。

【0016】（実施形態 2）図 4 は本発明の実施形態 2 の構成を示す正面図であり、図 1 と同一符号のものは同一のものを示している。また、4 は、袋 1 の表面側（図 4 において手前）と裏面側を縫いつけた縫糸である。

【0017】このように本実施形態においては、縫糸 4 によって袋 1 の内部の中央部の幅が、上端部および下端部の幅よりも小さくなっている。

【0018】以上のように構成された本実施形態に土を詰めて土嚢を造った場合には、中央部に詰まる土の量が従来の土嚢に比して少なくなる。

【0019】従って本実施形態によれば、土嚢 A の中央部を折り曲げ易くすることができるために、図 5 に示したように、バリケード B の重しとして土嚢 A を用いるような場合には、バリケード B に土嚢 A を容易に装着することができる。さらに、装着された土嚢 A の上端部の閉紐 2 と下端部の縛紐 3 および側面の縛紐 3 同士を結ぶことにより、土嚢 A をバリケード B に強固に固定することができる。

【0020】なお、以上説明した実施形態 1 および 2 においては、袋 1 の材料を生分解性プラスチックとしたが、この袋 1 の材料は生分解性プラスチック 1 に限定されるものではなく、どのような材料であってよい。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば従来に比して設置した位置から動きにくい土嚢を造ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施形態 1 の構成を示す正面図である。

3

4

【図 2】本発明の実施形態 1 の使用方法の説明図である。

* 【図 7】従来例の説明図である。

【図 3】本発明の実施形態 1 の使用方法の説明図である。

【図 8】従来例の説明図である。

【図 4】本発明の実施形態 2 の構成を示す正面図である。

【符号の説明】

【図 5】本発明の実施形態 2 の使用方法の説明図である。

1 袋

2 閉紐

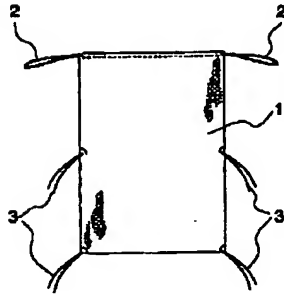
3 縛紐

4 縫糸

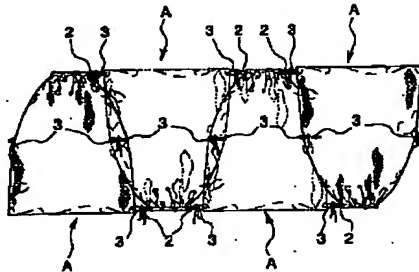
A 土嚢

* B バリケード

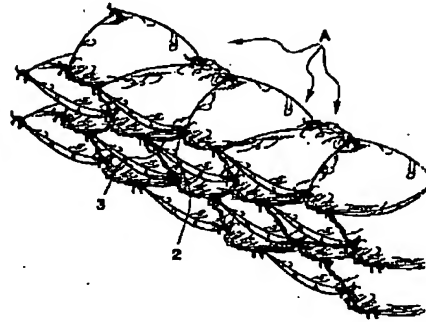
【図 1】



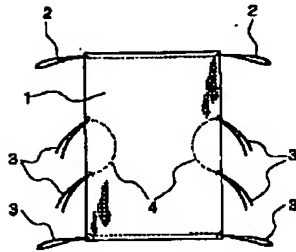
【図 2】



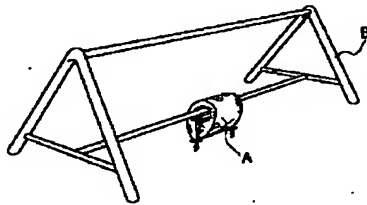
【図 3】



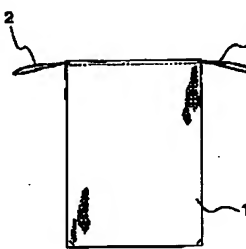
【図 4】



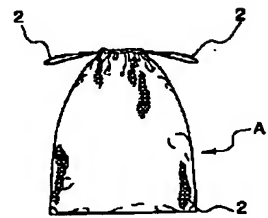
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

